

「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」のための
授業パッケージと教員研修プログラムの開発

高橋 伸明	吉野 和美	影山 知美
笠原 晶子	松橋 尚子	宮脇 康一
渡辺 純恵	此川美奈代	天野 三鶴

要約

小学校学習指導要領の総則には情報モラル教育の必要性が、同総合的な学習の時間には「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」が記された。よりよいコミュニケーションや人と人との関係づくりのために、今後も変化を続けていく情報手段を効果的に活用させ、必要な判断力や心構えを身に付けさせるための手だてとして示されたものと考えられる。しかし現状においては、メディア活用から児童を遠ざけるような対処療法的な教育活動が多く行われてしまっており、こうした実践研究や普及啓発活動は十分であるとはいえない。

本研究では、「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」を支援するための授業パッケージと、その授業パッケージを活用した教員研修プログラムを開発した。アンケート調査を通して、授業パッケージについては「掲載内容は分かりやすいか」、「日常の授業で活用しやすいか」という点を検討すること、教員研修プログラムを活用した研修会については、参加者が「教える内容や教え方に関する理解を深めたか」、「研修後に授業パッケージを踏まえた実践に取り組もうとしたか」という点について検討することを目的とした。

研究にあたっては、まずこれまで行ってきた実践等の中から成果を上げてきたと考えられる題材を選び、パッケージ教材に関する先行研究を参考に掲載すべき要件を洗い出した後、8冊の授業パッケージを開発した。さらに開発した授業パッケージを活用した教員研修プログラムを作成し研修を実施したが、その教員研修プログラムはこれまでの研究成果をもとに、「教える内容の意識化」「教え方の意識化」を重視した内容・構成にした。

授業パッケージを読んだ教員等へのアンケート調査からは、「掲載内容の分かりやすさ」や「日常の授業での活用しやすさ」について概ね高い評価が得られた。また、実施した教員研修参加者へのアンケート調査からは、ほとんどの参加者が研修を通して教える内容や教え方に関する理解を深め、高い満足感を持ったこと、研修後に授業パッケージを踏まえた実践に取り組んだり実践を計画したりしたことが示された。

1 はじめに

メディアが伝える情報が児童の生活に強い影響を与えているさまざまな事実を背景として、昨今、情報を読み解く力の育成が重視されてきた。

新しい小学校学習指導要領の総則では情報モラル教育の必要性が示された(文部科学省 2008)。同じく総合的な学習の時間には「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」が示され、同解説総合的な学習の時間編には「情報手段の進化によって日常生活や消費行動がどう変化したか」「情報手段の進化によって社会がどのように豊かになったのか」「日常生活にどのような新しい危険や困難がもたらされたのか」等の指導の観点が例示されている。

これらのことは、よりよいコミュニケーションや人と人との関係づくりのために、今後も変化を続けていく情報手段を効果的に活用させ、その際に必要な判断力や心構えを身に付けさせる手だてとして示されたものと考えられる。

しかし現状では、情報モラル教育に対する喫緊の課題意識により、携帯電話の持ち込み禁止に代表されるように、メディア活用から児童を遠ざけるような対処療法的な教育活動が多く行われてしまっており、上記の理念を実現する実践研究及び普及啓発に関する活動は十分であるとはいえない。

本研究では、「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」を支援するために、この分野に対する指導経験が浅く授業イメージを持つことが難しい教員であっても、児童に教える内容が把握できるような授業パッケージと、授業パッケージを活用した教員研修プログラムを開発した。

なお、「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」は、堀田(2004)が提唱するメディアとのつきあい方学習に位置付く学習活動と捉えており、本研究は「メディアとのつきあい方学習の授業パッケージと教員研修プログラムの開発」と同義と見なして推進した。

2 目的

(1) 「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」を支援するために作成した授業パッケージ(以下「授業パッケージ」と記す)を、1)掲載内容は分かりやすいか、2)日常の授業で活用しやすいか、という点について、アンケート調査により検討する。

(2) (1)を活用した教員研修プログラムを作成し、研修を実施することで、1)参加者が教える内容や教え方に関する理解を深めたか、2)研修後に授業パッケージを踏まえた実践に取り組もうとしたか、についてアンケート調査を通して検討する。

3 研究の方法

(1) 授業パッケージの作成

- 1) パッケージ教材の開発に関する先行研究等を調べて、授業パッケージに掲載する内容や構成等を探り、決定した。
- 2) 上記 1)で決めた内容・構成に合わせて、筆者が代表を務める「メディアとのつきあい方学習実践研究会」(以下、「研究会」と記す)がこれまでにに行った実践を再構成し、授業パッケージを作成した。

(2) アンケート調査による授業パッケージの検討

1) 対象

研究会は、メディアとのつきあい方学習について広く理解してもらうために、定期的に「メディアとのつ

きあい方学習実践研究会
学習会」(以下「学習会」と
記す)を開催している。今
回、第4回学習会において
授業パッケージを活用し、
参加者(48名)に対してア
ンケート調査を実施した。

2) アンケート調査項目と
調査方法
授業パッケージに関する

表1 授業パッケージに関するアンケート調査項目(概略)

<p>【アンケート1】自分自身について</p> <p>1 性別</p> <p>2 所属</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校種別、企業、その他 ・経験年数 ・専門 ・担当 <p>3 学習会等への参加回数</p> <p>4 メディアとのつきあい方学習に関する既知の知識・経験</p> <p>【アンケート2】授業パッケージについて</p> <p>1 掲載内容ごとの分かりやすさ</p> <p>2 授業パッケージが日常の授業に位置付けて実践できるか</p>

アンケート調査は、学習会の中で2回に分け、表1のような調査項目で実施した。アンケート1は学習会開始時に、アンケート2は授業パッケージの内容を読み取るワークショップ後に、参加者が回答した。

3) アンケート集計

46名からアンケートを回収した(男性21名、女性25名)。内訳は、小学校教員37名、中学校教員1名、大学教員1名、教育行政機関3名、企業1名、ICT支援員3名であった。小中学校の教職経験年数別、メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別で集計し、考察を加えた。

(3) 教員研修プログラムの作成

教員研修の内容や構成に関する先行研究等を踏まえて、授業パッケージを活用した教員研修プログラムを作成した。

(4) アンケート調査による教員研修プログラムの検討

1) 対象

研究会が開催した第4回学習会において授業パッケージを活用した教員研修プログラムを実施し、参加者(48名)に対してアンケート調査を行った。

2) アンケート調査項目と調査方法

教員研修プログラムに関するアンケート調査は、2回に分けて実施した。各回答者の「所属」「教職経験年数」「メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解」等については、学習会開始時の別調査で把握

表2 教員研修プログラムに関するアンケート調査項目(概略)

<p>1 ①～⑦のことにどの程度効果があったか(5.あった～1.なかった)の5段階で回答)</p> <p>①メディアとのつきあい方学習についての理解</p> <p>②メディアとのつきあい方学習の授業の理解</p> <p>③パッケージを使って授業をする意欲の高まり</p> <p>④授業展開についての理解</p> <p>⑤実践すべき教科・領域についての理解</p> <p>⑥自分で教材を開発して実践する意欲の高まり</p> <p>⑦自分で資料等を用意するコツをつかむこと</p> <p>2 学習会のプログラムに対する満足度(5.大変満足～1.大変不満)の5段階で回答)</p> <p>・全体 ・第1部「パッケージ読解」 ・第2部「模擬授業」 ・第3部「講演」</p>

表3 学習会から3ヶ月後のアンケート調査項目（概略）

<p>1 学習会後、授業パッケージを使って実践をしたか</p> <p>1-a. 使ったパッケージ</p> <p>1-b. 授業した学年、教科等</p> <p>1-c. 今後の実践する予定や見込み</p> <p>1-d. 実践予定の時期</p> <p>2 学習会後、授業パッケージや学習会の内容を参考にして実践をしたか</p> <p>2-a. 何のどの部分を参考にしたか</p> <p>2-b. 授業した学年、教科等</p> <p>2-c. 今後の実践する予定や見込み</p> <p>2-d. 実践予定の時期</p> <p>3 上記すべてに「いいえ」と答えた場合の背景等</p>
--

した。

- a. 学習会終了時に、学習会の各プログラムが教える内容や教え方を理解する上でどの程度効果があったか、各プログラムに対する満足度はどの程度か、等について調べた(表2)。
- b. 学習会から3ヶ月後に、学習会で配付した授業パッケージを踏まえた実践に取り組んだり実践を計画したりしたかについて、電子メールを通して調べた(表3)。

3) アンケート集計

3(4)2)a。については、46名からアンケートを回収した(男性21名、女性25名)。内訳は、小学校教員37名、中学校教員1名、大学教員1名、教育行政機関3名、企業1名、ICT支援員3名であった。小中学校の教職経験年数別、メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別で集計し、考察を加えた。

3(4)2)b。については、22名からアンケートを回収した(男性10名、女性12名)。内訳は、小学校教員17名、中学校教員1名、大学教員1名、教育行政機関2名、ICT支援員1名であった。そのうちの1名については、a。のアンケートに未回答であったため、変化を見る際には除外し、21名の回答内容で考察を行った。

4 授業パッケージの作成

(1) パッケージ教材に関する先行研究より

影山ら(2005)による「メディアとのつきあい方学習」の初心者向け授業実践パッケージの開発研究からは、パッケージに具備されるべき要件として次の3点が整理できる。

- ・授業展開例、ワークシート、提示用の写真等の教材がある。
- ・クリアファイル見開き1ページにすべての資料をそろえる。
- ・学習指導案については、授業者が授業イメージを持ちやすくするとともに、どこに重点を置いて指導するか示すため、学習活動をブロックに分け、時間配分を明記する。

また、渡辺ら(2002)は、情報教育用学習パッケージの開発に携わった教員へのアンケート結果を分析し、次のような工夫が学習パッケージの利用を容易にすると述べている。

- ・学習指導案は、活動に際して本時の目標や実践上のポイント、児童の活動例などを具体的に記述する。
- ・ワークシートは、児童が自分で学習を進めることができるように、具体的な指示で文章表現し情報量が

表4 授業パッケージの内容・構成及び8つの教材名

各授業パッケージの内容・構成（全16ページ）	教材名（A～Hは教材コード）
① メディアとのつきあい方学習とは何か（P1）	A. 広告のポスターを調べよう
② 授業パッケージの使い方（P2）	B. 学級新聞を調べよう
③ 授業パッケージ全体の構成（P3）	C. ラーメンパッケージを調べよう
④ 8つの授業パッケージの概要（P4-5）	D. 商品のCMを調べよう
⑤ 授業のねらい、教材観、指導観等（P6-7）	E. テレビ番組欄を調べよう
⑥ どういう授業展開にすればよいか（P8-9）	F. 新聞記事を調べよう
⑦ 児童用ワークシートとそれを使った指導のポイント（P10-11）	G. プロフの特性を調べよう
⑧ 授業で活用できるスライドと教師用トーク例（P12-15）	H. 架空請求メールを調べよう
⑨ 奥付（P16）	

多過ぎないようにする。

・教員が授業をイメージでき、学習全体をナビゲートできるようにするために、ワークシートへの児童の予想される記述内容を記載する。

さらに近年開発された教員研修用のパッケージ教材は、次のような内容・構成になっていた。

・実物投影機活用授業研修パッケージ(全5セット)には、それぞれ1. 開発の意図説明、2. 全5パッケージの概要を示す一覧表、3. 各研修の流れ図、4. 研修の進め方(スライドとトーク例)、5. 研修のスライドデータ、6. 各研修に必要な教材や資料が包括されていた。

・フラッシュ型教材研修パック(全5セット)には、それぞれ1. 開発の意図説明、2. 全5パックの概要を示す早見表、3. 各研修の流れ図、4. 研修時の講師トーク(スライドとトーク例)、5. 研修のスライドデータ、6. 教材の見本や授業風景ビデオが包括されていた。

これらの先行研究に倣い、作成する授業パッケージは表4のような内容・構成にした。

(2) パッケージ化した教材

これまでに研究会メンバーが行った授業実践、セミナー・学習会で実施した模擬授業・ワークショップ等の題材の中から、比較的広く受け入れられ成果を上げてきたと考えられる8つの代表的な教材を選び、これらを8冊の冊子「授業パッケージ」にまとめた(図1)。8つの教材名は表4の通りである。

5 授業パッケージに関するアンケート調査の結果

(1) 掲載内容の分かりやすさについて

表4に記した授業パッケージの①～⑧の掲載内容について、分かりやすいかどうかをアンケート調査した。①～⑧それぞれに対して、「そう思う」から「そう思わない」までの5段階で評価を受けた。表5の通り、ほとんどの参加者が「そう思う」「少しそう思う」と回答した。

回答を「そう思う=5点」～「そう思わない=1点」で点数化し、「小中学校の教職経験年数別」に見た平均値を①～⑧の内容ごとに示す



図1 8冊の授業パッケージ

表5 掲載内容の分かりやすさに関するアンケート調査結果 (単位=人)

	そう思う	少し思う	いもどちえな	少しわな	なそうわ
① メディアとのつきあい方学習とは何か	41	4	1	0	0
② 授業パッケージの使い方	45	1	0	0	0
③ 授業パッケージ全体の構成	37	9	0	0	0
④ 8つの授業パッケージの概要	37	9	0	0	0
⑤ 授業のねらい、教材観、指導観等	39	7	0	0	0
⑥ どういう授業展開にすればよいか	41	5	0	0	0
⑦ 児童用ワークシートとそれを使った指導のポイント	40	6	0	0	0
⑧ 授業で活用できるスライドと教師用トーク例	40	6	0	0	0

と図2の通りであった。実際に授業で活用する⑤～⑧について、特に経験年数10～19年の参加者が相対的に高い評価をしていること、全体的に教職経験者以外は相対的に低い評価をしていること等が示された。また同様に「メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別」を見ると図3の通りであった。⑤～⑧については、教材等を自作して授業をしたことがある参加者が、相対的に高い評価をしていること等が分かった。

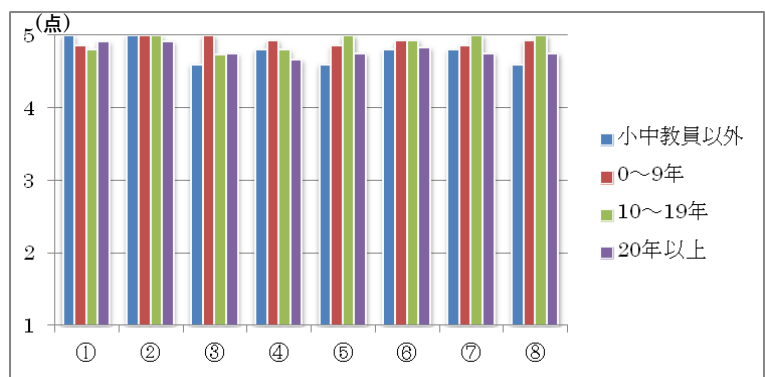


図2 小中学校の教職経験年数別に見た分かりやすさに対する意識

(2) 日常の授業での活用しやすさ

表4に記したA～Hの授業パッケージに対して、「日常の授業で活用しやすいかどうか」についてのアンケート調査をした。8つの授業パッケージそれぞれについて「活用しやすい」「分からない」のどちらかを選び、「活用しやすい」場合には具体的に教科・領域等を記述させた。表6の通り、多くの参加者が活用しやすいと回答した。しかし、D以外の7つでは「分からない」と回答した参加者が若干見られた。

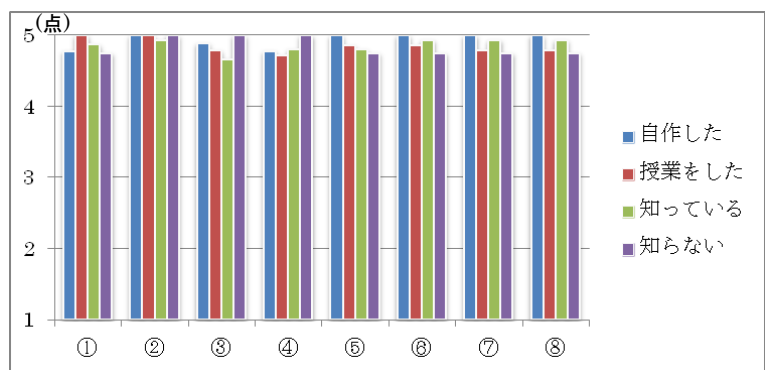


図3 メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別に見た分かりやすさに対する意識

回答を「活用しやすい=2点」「分からない=1点」で点数化し、「小中学校の教職経験年数別」に見た平均値をA～Hそれぞれに示すと、図4の通りであった。経験年数の長い参加者の方が、活用しやすいと回答している傾向が示された。また同様に「メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別」を見ると図5の

通りであった。授業をしたことがある参加者が、活用しやすいと回答している傾向が示された。

6 授業パッケージに関する考察

教職の経験年数が長かったりメディアとのつきあい方学習の授業をしたことがあったりする参加者が、授業パッケージについて「掲載内容が分かりやすい」「日常の授業で活用しやすい」とより多く回答したことは、授業パッケージに掲載された指導に関する情報が経験に基づいて読み解けたこと、そして授業イメージを持つことができたことが理由と考えられる。大きな差ではなかったが、経験の浅い参加者の評価が相対的に低かったことから、授業パッケージを活用した教員研修プログラムの開発が重要であり、そのことによって普及にいつそう寄与することができるものとする。

7 教員研修プログラムの作成

(1) 教員研修に関する先行研究より

高橋ら(2005)は、受講者がメディアとのつきあい方学習の教える内容を理解し、授業実践や普及活動に取り組むようになることを目的に、「実践事例を通して見方・考え方に触れた後、具体的な教材・授業イメージをもちながら指導法を議論し、最後に自分がイメージした実践の理屈付けをする」という研修デザインに基づいて、教員研修を実施した。受講者へのアンケート調査やインタビュー調査から、研修デザインは目的を達成するために効果的であったことが示された。

また高橋ら(2006)は、1. 当該メディア体験の想起、2. 具体的な活動の体験、3. 「教える内容」の意識化、4. 実践化に向けた検討、5. 「教え方」の意識化、6. 振り返り、から構成される「メディアとのつきあい方学習教員向けワークショップモデル」を開発した。教員研修での評価を通して、モデルがメディアとのつきあい方学習の教え方を意識できるようになるために有効であることを示した。さらに高橋ら(2007)は、模擬授業を体験した後、授業を分析しながら「教える内容」と「教え方」の意識化を図り、授業を構想する、という流れの「模擬授業を取り入れたメディアとのつきあい方学習ワークショップモデル」も作成

表 6 日常の授業での活用のしやすさに関するアンケート調査結果 (単位=人)

教材コード	A	B	C	D	E	F	G	H
活用しやすい	11	11	10	10	10	11	11	8
分からない	2	1	1	0	2	1	1	2

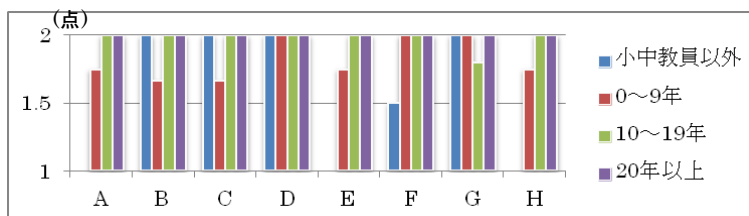


図 4 小中学校の教職経験年数別に見た活用しやすさに対する意識

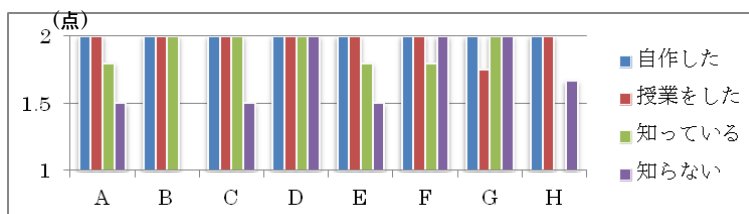


図 5 メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別に見た活用しやすさに対する意識

表 7 授業パッケージを活用した教員研修プログラム

1	パッケージを読解するワークショップ	↑ 「教える内容」の意識化 ↓	↑ 「教え方」の意識化 ↓
1.	個人で読み解く		
2.	読み解いたことをグループ内で共有する		
3.	読み解いたことを他グループと共有する		
2	模擬授業		
1.	研究会代表者による模擬授業を見る		
2.	グループ内で感想を共有する		
3.	グループ内で自分がやってみたい授業を出し合う		
3	研究者による総括講演		

表 8 教える内容や教え方の理解等に対する効果に関するアンケート調査結果

質問項目	N=46	効果の程度				
		あった	少しあった	どちらとも言えない	少しなかった	なかった
① メディアとのつきあい方学習についての理解		44	1	1	0	0
② メディアとのつきあい方学習の授業の理解		44	1	1	0	0
③ パッケージを使って授業をする意欲の高まり		42	4	0	0	0
④ 授業展開についての理解		39	7	0	0	0
⑤ 実践すべき教科・領域についての理解		28	17	1	0	0
⑥ 自分で教材を開発して実践する意欲の高まり		17	22	7	0	0
⑦ 自分で資料等を用意するコツをつかむこと		20	21	5	0	0

し、教員研修で成果を上げた。

これらの先行研究に倣い、「授業パッケージを活用した教員研修プログラム」は表 7 のような「教える内容の意識化」「教え方の意識化」を重視した内容・構成にした。この研修プログラムを活用した学習会は、2011 年 7 月 9 日(土)に東京大学福武ラーニングスタジオで開催した(図 6)。



図 6 メディアとのつきあい方学習実践研究会が主催した第 4 回学習会の様子

8 教員研修プログラムに関するアンケート調査の結果

(1) 教える内容や教え方の理解について

表 2 に記した 1①～⑦について、どの程度効

果があったかをアンケート調査した。①～⑦それぞれに対して、「あった」から「なかった」までの 5 段階で評価を受けた。表 8 の通り、ほとんどの参加者が「あった」「少しあった」と回答した。

回答を「あった=5点」～「なかった=1点」で点数化し、「小中学校の教職経験年数別」に見た平均値を①～⑦の内容ごとに示すと図 7 の通りであった。授業パッケージを活用して授業をするだけにとどまらない発展的な質問項目については、特に経験年数 0～9 年の参加者が相対的に見れば低い評価をしている傾向が見られた。また同様に「メディアとのつきあい方学

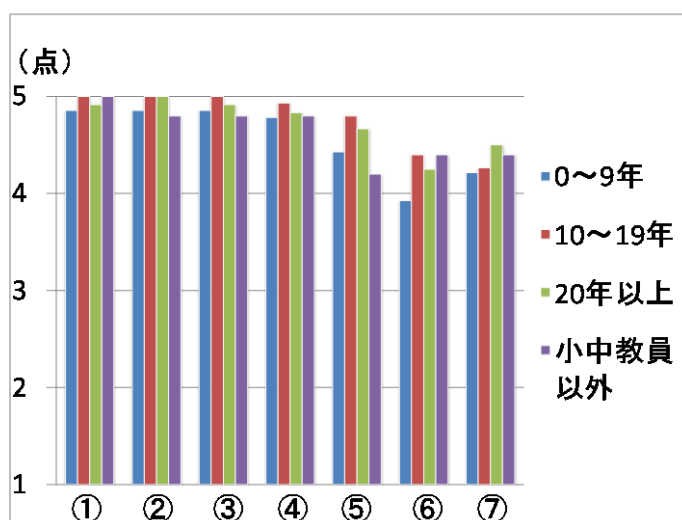


図 7 小中学校の教職経験年数別に見た教える内容や教え方の理解等に対する意識

習に係る経験・理解別」に見ると図 8 の通りであった。メディアとのつきあい方学習についての知識を持っていない参加者が、相対的に見れば低い評価をしている傾向が見られた。

(2) プログラムに対する満足度について

学習会のプログラムについて、参加者がどの程度満足しているかをアンケート調査した。プログラム全体及び第1部～第3部について、「大変満足」から「大変不満」までの5段階で評価を受けた。表 9 の通り、ほとんどの参加者が「大変満足」「やや満足」と回答した。

回答を「大変満足＝5点」～「大変不満＝1点」で点数化し、「小中学校の教職経験年数別」に見た平均値を調査項目ごとに示すと図 9 の通りであった。経験年数 0～9 年の参加者が相対的に見れば低い評価をしている傾向が見られた。また同様に「メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別」に見ると図 10 の通りであった。知識のない参加者が、相対的に見れば低い評価をする傾向が見られた。

(3) 研修後の実践化について

学習会参加者がその後、配付された授業パッケージを踏まえた実践に取り組もうとしたかどうかについてアンケート調査した。表 10 の通り、授業パッケージを使った実践及び授業パッケージや学習会を参考にした実践に、すでに取り組んでいた参加者は 21 名中 8 名であった。8 名が使った 9 パッケージの内訳は「A.広告のポスターを調べよう 2 名」「D.商品のCMを調べよう 1 名」「F.新聞記事を調べよう 3 名」「H.架空請求メールを調べよう 3 名」であった。

今年度中の具体的な時期を示して「授業パッケージを使った実践を今後行う予定がある」と回答した参加者は 21 名中 18 名、「授業パッケージや学習会を参考にした実践を今後行う予定がある」と回答した参加者は 21 名中 19 名であった。実践を行う予定がない参

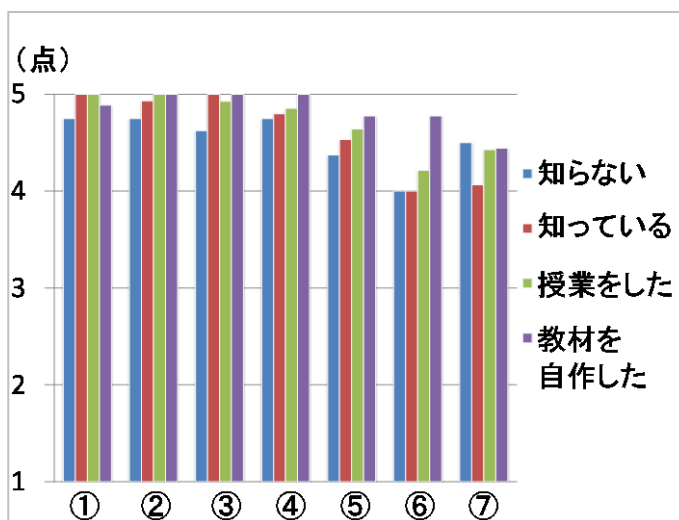


図 8 メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別に見た教える内容や教え方の理解等に対する意識

表 9 プログラムへの満足度に関するアンケート調査結果

プログラム	N=46				
	大変満足	やや満足	ふつう	やや不満	大変不満
全体	40	5	0	1	0
第1部「パッケージの読解」	38	7	1	0	0
第2部「模擬授業」	40	5	1	0	0
第3部「講演」	43	2	1	0	0

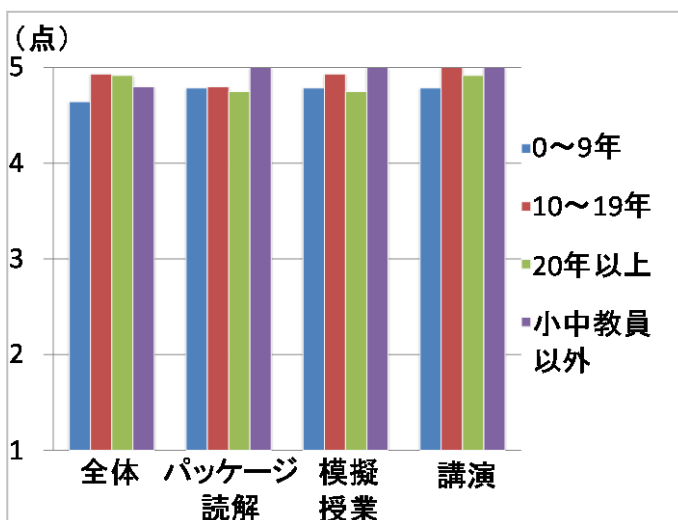


図 9 小中学校の教職経験年数別に見たプログラムへの満足度

加者は、実践できない理由として「養護教諭なので、この種の授業を行うことは難しい」「学級担任ではないので実践する機会が作れない。そのため、担任を持つ職員に授業パッケージを紹介し、実践を行ってもらう予定である。」「教員研修施設の指導主事なので、自分では実践できないが、研修の進め方を参考にしたり、授業計画案を作成したりする等を予定している。」等と回答していた。

表 10 の質問項目 1-1 の回答者数を、「小中学校の教職経験年数別」に示すと図 11 の通りであった。経験年数 0～9 年の参加者 5 名のうち 3 名が、すでに実践していることが分かった。同様に、「メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別」に示すと図 12 の通りであった。学習会参加前には知識を持っていなかった参加者 3 名のうち 1 名が、すでに実践していることが分かった。

9 教員研修プログラムに関する考察

(1) 参加者が教える内容や教え方に関する理解を深めたか

「教える内容の意識化」「教え方の意識化」を重視した内容・構成の研修プログラムを作成し、学習会を展開した。アンケート調査の結果から、すべてのプログラムに対してほとんどの参加者が教える内容や教え方に関する理解を深めたという意識を持ち、高い満足感を抱いていることが示されたと考えられる。大きな差ではなかったが、経験の浅い参加者の評価が相対的に低い傾向を示したことは、「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」に係る自身の学習経験・指導経験が不足しているからであり、一度の教員研修だけで一朝一夕に経験の差が埋められるものではないことがうかがえる。

今後も「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」を支援するために、研修プログラムの改善を図りながら教員研修を継続的に実施したり、教員研修パッケ

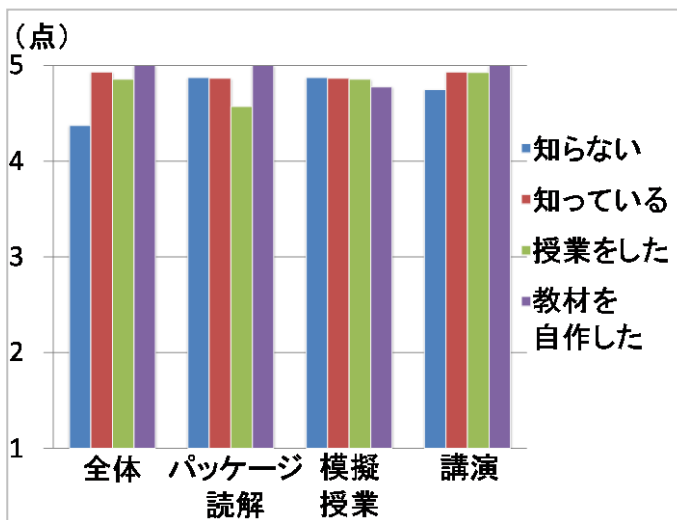


図 10 メディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別に見たプログラムへの満足度

表 10 学習会后、授業パッケージを踏まえた実践に取り組もうとしたかについて

質問項目	N=21	はい	いいえ
		1-1 授業パッケージを使って、すでに実践した	8
1-2 授業パッケージを使った実践を、今後行う予定がある	18	3	
2-1 授業パッケージや学習会を参考にした実践を、すでに行った	8	13	
2-2 授業パッケージや学習会を参考にした実践を、今後行う予定がある	19	2	

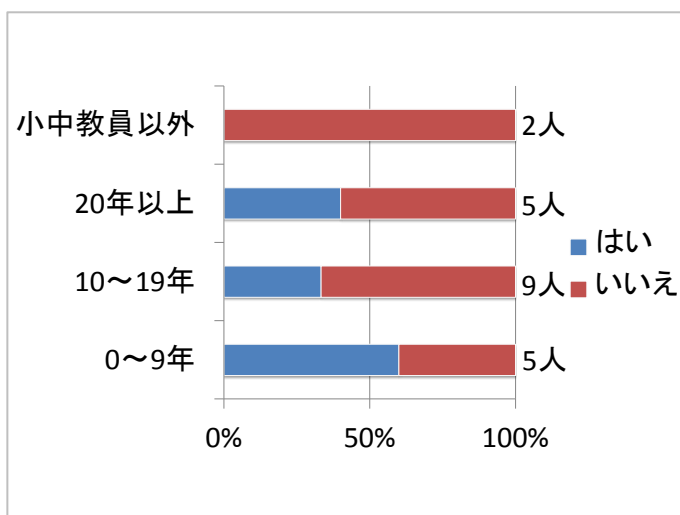


図 11 参加者の小中学校教職経験年数別に見た学習会后 3 ヶ月以内の実践化の割合

ージを提供したりする必要があると考えられる。

(2) 研修後に授業パッケージを踏まえた実践に取り組もうとしたか

アンケート調査の回答者数は学習会参加者数の50%以下ではあるが、大半が「授業パッケージを使った実践・授業パッケージや学習会を参考にした実践を、今後行う予定がある」と回答している。また回答の中には、「学習会のワークショップの展開、発問や指示が、実践の参考になった。」という記述も見られた。これらのことから、授業パッケージを活用した教員研修プログラムの実施によって、参加者が実践に取り組もうとする意識を持つことができたものと考えられる。

なお、授業パッケージを活用した実践を学習会終了後すぐに行った参加者が、「教職0～9年目」「メディアとのつきあい方学習についてよく知らない」と回答した者の中にも、比較的多く見られた。これは、授業パッケージの内容理解や教える内容や教え方の理解に関する意識調査結果とは、異なる傾向である。授業パッケージを活用した教員研修プログラムによって、経験や指導力の有無に左右されることなく、参加者の意識を実践に向かわせることができたためではないかと考えられる。

今後も、学習会参加者に対する情報提供を行い、授業パッケージを踏まえた実践の普及・定着に向けた支援を継続する必要があると考えられる。

10 まとめ

(1) 「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」を支援するために、これまで行ってきた実践等の中から成果を上げてきたと考えられる8つの題材を選び、8冊の授業パッケージを開発した。開発にあたっては、パッケージ教材に関する先行研究を参考に掲載すべき要件を洗い出した。授業パッケージを読んだ教員等へのアンケート調査からは、「掲載内容の分かりやすさ」や「日常の授業での活用しやすさ」について概ね高い評価を得た。

(2) 「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」を支援するために開発した授業パッケージを活用した教員研修プログラムを作成し、研修を実施した。プログラムは、これまでの研究成果をもとに、「教える内容の意識化」「教え方の意識化」を重視した内容・構成にした。1) 参加者が教える内容や教え方に関する理解を深めたか、2) 研修後に授業パッケージを踏まえた実践に取り組もうとしたか、についてアンケート調査を通して検討したところ、ほとんどの参加者が研修を通して教える内容や教え方に関する理解を深め、高い満足感を持ったこと、研修後に授業パッケージを踏まえた実践に取り組んだり実践を計画したりしたことが示された。

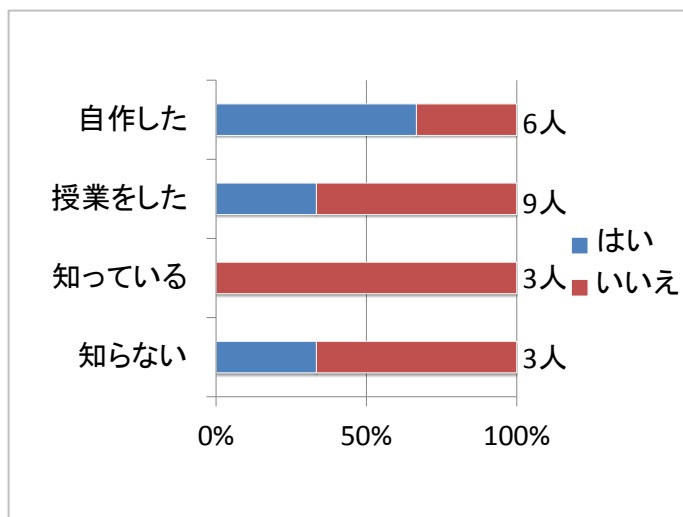
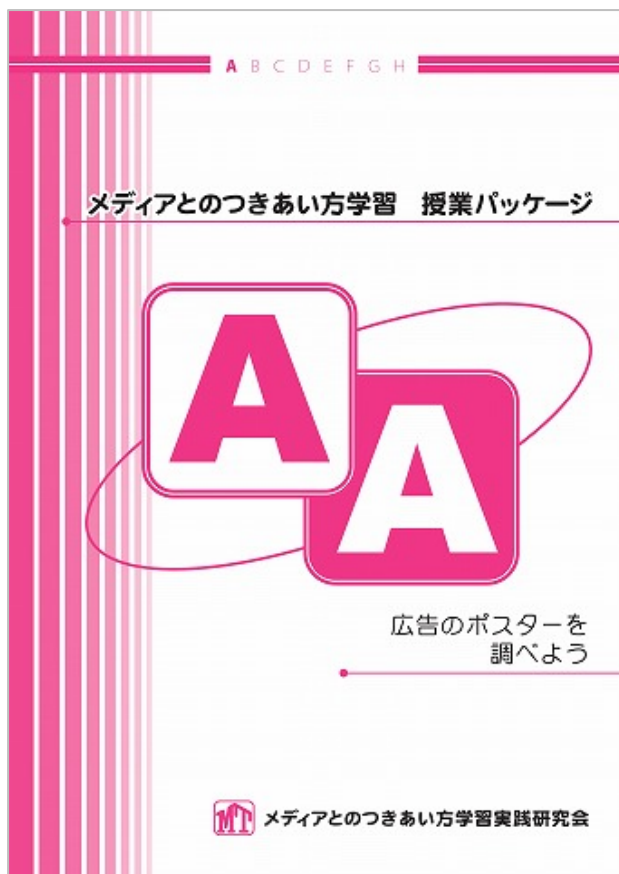


図12 参加者のメディアとのつきあい方学習に係る経験・理解別に見た学習会後3ヶ月以内の実践化の割合



「メディアつき」とは

「メディアとのつきあい方学習」とは、玉川大学教職大学院 塚田健也教授が 2004 年以降提唱してきた情報教育の理論です。私たちは楽しみを込めて「メディアつき」と呼んでいます。「メディアつき」は、決してメディアを否定しません。メディアの特性を正確に理解することによって、メディアと上手に「つきあって」いこうとします。「メディアつき」には 3 つの学習内容があります。

1. **メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方**
2. **メディアが生活に与える影響**
3. **メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方**

1 メディアの特性と適切なメディアの選択の仕方
例えば、新聞と雑誌では、表現形態が異なります。電子メールと掲示板は、読者の範囲が異なります。また同じテレビ番組であっても、ニュースは信頼性の高い事実情報を伝えますが、ドラマはあくまで虚構です。私たちは、こうしたメディアによる特性の違いを理解することで、情報を冷静に受け止めたり上手に使いこなしたりすることができるようになります。

2 メディアが生活に与える影響
私たちは毎日、メディアを通してたくさんの情報を得ています。例えば、買い物で商品を手に取る際には、少なからずテレビCMの好感度があったりします。マスメディアは、私たちに役立つ情報を適切に伝えますが、誤りが発生し結果したものであります。こうしたメディアの伝達する影響を理解した上で、私たちは自分で物事を判断しなければなりません。ということをお伝えする必要があります。

3 メディアが取り巻く社会での安全な行動の仕方
情報社会に生きる上で普通に遭遇する様々な問題を知り、自分の身を守る術を身に付けることです。例えば、突然他人への転送を促すメールが届いたらどうするか、友だちとのメールのやりとりで気持ちが行き違っていると感じたときどうするか、等等、単に教え込むだけでなく、メディア活用体験を通して知識を持つことができるよう指導する必要があります。

この「メディアつき授業パッケージ」には、メディアの授業を誰もが実施できるように、学習指導案、ワークシート、指導の手引等を収録しています。これまで私たちが行った実践の中から成果を上げてきた題材のうち、代表的な 8 つのメディアに絞り、8 冊の冊子にまとめました。さっそく「メディアつき授業パッケージ」を使って実践していただければ幸いです。

メディアつき授業パッケージの使い方

- 1 まずは「メディアつき」を知る**
「メディアとのつきあい方学習って何だろう」という疑問を解決するために、「メディアつきとは」というページを設けました。はじめにお読みいただき、メディアとのつきあい方学習の基本的な考え方を理解しましょう。
- 2 実践したい教材を決める**
メディアつき授業パッケージは、全て 1 単位時間で行うことができる実践です。冊子に掲載されている「メディアつき授業パッケージ一覧」に書かれている教材名、メディア名、対象学年(目安)、教科・領域などから、実践したい教材を選びましょう。
- 3 授業のイメージをつかむ**
冊子には、授業の展開例や教師用ワークシート(朱書き入り)、授業時の教師用トークが掲載されています。授業の展開例を参考にして授業のイメージをつかみましょう。初めてメディアつきの授業をする場合は、授業の展開例だけではイメージをつかみにくいかもしれません。そのような場合は、授業時の教師用トークを参考にしましょう。ここでは、教師の発問や指示が具体的に書かれています。授業前に読んでおくことで安心して授業を行うことができます。
- 4 準備物を整える**
授業で使う準備物には、「この冊子に収録」「教材ダウンロードサイトで入手」「各自で入手」の 3 種類があります。

<p>■この冊子に収録 児童用と教師用のワークシート、授業資料がこの冊子に収録されています。冊子にあるものをそのまま印刷して使うことができます。</p>	<p>■教材ダウンロードサイトで入手 教材ダウンロードサイト https://msh.nis.ac.jp/edu/mediasite/ から、児童用ワークシート(pdf)、授業資料(pdf)、授業用スライド(pppt)などを入手することができます。</p>
<p>■各自で入手 授業を行うときに使うものです。教師や児童が用意します。</p>	<p>■その他あった方がいいもの 授業を行うときに便利なものを紹介しています。</p>

- 5 授業をする**
1～4ができました。さあ、授業を行いましょう。

メディアつき授業パッケージの構成

全冊子共通の内容

- ◆ **メディアつきとは**
メディアとのつきあい方学習の基本的な考え方について説明しています。
- ◆ **メディアつき授業パッケージの使い方**
本パッケージの使い方について、5段階で説明しています。
- ◆ **メディアつき授業パッケージの構成**
「全冊子共通の内容」と「冊子ごとの内容」に分けて冊子の構成を表示しています。
- ◆ **メディアつき授業パッケージ一覧**
本パッケージの早見表です。8 教材を比べながら見るができます。

冊子ごとの内容

- ◆ **ねらい、教材の価値、対象学年、教科・領域等、時間数**
授業のねらいや教材の価値など、授業の概要が分かるようになっていました。
- ◆ **授業の位置付け、準備物**
メディアつき実践を行うことができる教科・領域との関係を示しています。
- ◆ **授業の展開例**
発問、予想される児童の反応、指導上の留意点などが書いてあります。
- ◆ **授業資料**
どんな資料を使って授業を進めるのかのかが分かります。
- ◆ **児童用のワークシート**
授業で使うワークシートです。そのまま印刷して使うことができます。
- ◆ **教師用のワークシート(朱書きあり)**
児童への指導の言葉がしやすいように、予想される児童の反応を示しています。
- ◆ **授業時の教師用トーク**
発問や指示など、授業において教師が何を話せばいいのかが分かります。

メディアつき授業パッケージ一覧

教材コード	A	B	C	D
教材名	広告のポスターを調べよう	字級新報を調べよう	ラベリングカードを調べよう	親友のCMを調べよう
メディア名	広告のポスター	字級新報	広告のラベリング	テレビのCM
対象年次	小学校4年	小学校4年	小学校5年	小学校5年
教科・領域等	国語科・総合的な学習の時間	国語科・総合的な学習の時間	国語科・社会科・家庭科・総合的な学習の時間	国語科・総合的な学習の時間
時間数	1時間	1時間	1時間	1時間
準備物	ワークシート ポスター	ワークシート 字級新報	ワークシート ラベリングカードのラベリング	ワークシート
準備物 [この冊子と同様]	ワークシート ポスター	ワークシート 字級新報	ワークシート ラベリングカードのラベリング	ワークシート
準備物 [教材ダウンロードサイトで入手] [得意で印刷]	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド	ワークシート ラベリングカード (PDF) ラベリングカード (PDF) 授業用スライド 「カガリ」テレビCM (MP4)	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド 「カガリ」テレビCM (MP4)
準備物 [この冊子と同様]	ワークシート ポスター	ワークシート 字級新報	ワークシート ラベリングカードのラベリング	ワークシート
準備物 [教材ダウンロードサイトで入手] [得意で印刷]	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド	ワークシート ラベリングカード (PDF) ラベリングカード (PDF) 授業用スライド 「カガリ」テレビCM (MP4)	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド 「カガリ」テレビCM (MP4)
準備物 [この冊子と同様]	ワークシート ポスター	ワークシート 字級新報	ワークシート ラベリングカードのラベリング	ワークシート
準備物 [教材ダウンロードサイトで入手] [得意で印刷]	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド	ワークシート ラベリングカード (PDF) ラベリングカード (PDF) 授業用スライド 「カガリ」テレビCM (MP4)	ワークシート ポスター (PDF) 字級新報 (PDF) 授業用スライド 「カガリ」テレビCM (MP4)
メディアつき よしての ねらい	広告のポスターは、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。	字級新報は、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで字級新報を見ることが大切であることを理解させる。	商品のラベリングは、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで商品のラベリングを見ることが大切であることを理解させる。	テレビのCMは、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビのCMを見ることが大切であることを理解させる。
この教材 の価値	広告のポスターを見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。	字級新報を見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで字級新報を見ることが大切であることを理解させる。	商品のラベリングを見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで商品のラベリングを見ることが大切であることを理解させる。	テレビのCMを見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビのCMを見ることが大切であることを理解させる。
授業の展開	1. プレゼンテーションカードを調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。	1. 字級新報を調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで字級新報を見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで字級新報を見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで字級新報を見ることが大切であることを理解させる。	1. ラベリングカードを調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで商品のラベリングを見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで商品のラベリングを見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで商品のラベリングを見ることが大切であることを理解させる。	1. テレビCMを調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビのCMを見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビのCMを見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビのCMを見ることが大切であることを理解させる。

教材コード	E	F	G	H
教材名	テレビ番組のポスターを調べよう	新聞記事を調べよう	プロフの特徴を調べよう	研究発表メールの調べよう
メディア名	テレビ番組のポスター	新聞記事	プロフ	研究発表メール
対象年次	小学校5年	小学校5年	小学校5年	小学校5年
教科・領域等	総合科・総合的な学習の時間	国語科・総合的な学習の時間	国語科・総合的な学習の時間	国語科・総合的な学習の時間
時間数	1時間	1時間	1時間	1時間
準備物	ワークシート テレビ番組のポスター	ワークシート 新聞記事	ワークシート プロフ	ワークシート 研究発表メール
準備物 [この冊子と同様]	ワークシート テレビ番組のポスター	ワークシート 新聞記事	ワークシート プロフ	ワークシート 研究発表メール
準備物 [教材ダウンロードサイトで入手] [得意で印刷]	ワークシート テレビ番組のポスター (PDF) 新聞記事 (PDF) 授業用スライド	ワークシート 新聞記事 (PDF) 授業用スライド	ワークシート プロフ (PDF) 授業用スライド	ワークシート 研究発表メール (PDF) 授業用スライド
準備物 [この冊子と同様]	ワークシート テレビ番組のポスター	ワークシート 新聞記事	ワークシート プロフ	ワークシート 研究発表メール
準備物 [教材ダウンロードサイトで入手] [得意で印刷]	ワークシート テレビ番組のポスター (PDF) 新聞記事 (PDF) 授業用スライド	ワークシート 新聞記事 (PDF) 授業用スライド	ワークシート プロフ (PDF) 授業用スライド	ワークシート 研究発表メール (PDF) 授業用スライド
準備物 [この冊子と同様]	ワークシート テレビ番組のポスター	ワークシート 新聞記事	ワークシート プロフ	ワークシート 研究発表メール
準備物 [教材ダウンロードサイトで入手] [得意で印刷]	ワークシート テレビ番組のポスター (PDF) 新聞記事 (PDF) 授業用スライド	ワークシート 新聞記事 (PDF) 授業用スライド	ワークシート プロフ (PDF) 授業用スライド	ワークシート 研究発表メール (PDF) 授業用スライド
メディアつき よしての ねらい	テレビ番組のポスターは、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビ番組のポスターを見ることが大切であることを理解させる。	新聞記事は、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで新聞記事を見ることが大切であることを理解させる。	プロフの特徴は、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでプロフを見ることが大切であることを理解させる。	研究発表メールは、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで研究発表メールを見ることが大切であることを理解させる。
この教材 の価値	テレビ番組のポスターを見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビ番組のポスターを見ることが大切であることを理解させる。	新聞記事を見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで新聞記事を見ることが大切であることを理解させる。	プロフを見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでプロフを見ることが大切であることを理解させる。	研究発表メールを見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで研究発表メールを見ることが大切であることを理解させる。
授業の展開	1. テレビ番組のポスターを調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビ番組のポスターを見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビ番組のポスターを見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでテレビ番組のポスターを見ることが大切であることを理解させる。	1. 新聞記事を調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで新聞記事を見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで新聞記事を見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで新聞記事を見ることが大切であることを理解させる。	1. プロフを調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでプロフを見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでプロフを見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないでプロフを見ることが大切であることを理解させる。	1. 研究発表メールを調べる。2. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで研究発表メールを見ることが大切であることを理解させる。3. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで研究発表メールを見ることが大切であることを理解させる。4. 読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで研究発表メールを見ることが大切であることを理解させる。

広告のポスターを調べよう

ねらい

広告のポスターは、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。

教材の価値

広告のポスターを見て、ついでに商品の名前や特徴を調べるという活動が、読み手を見逃さない工夫がされていることに気付かせ、全てを眺めみしなないで広告のポスターを見ることが大切であることを理解させる。

この活動を通して、賢くポスターの情報を活用しようとする姿を期待しています。

対象学年

小学校第4学年

教科・領域等

国語科・総合的な学習の時間

時間数

1時間

授業の位置付け

国語科の時間、あるいは、総合的な学習の時間で実践できる題材として用意しました。

国語科で広告のポスターの読み解きを行う場合は、キャッチコピーに込められた思いや、絵や写真や背景など、伝えたいことを文字に置き換え、伝えることを意識した実践として行うことができます。あるいは、文章（キャッチコピーやボディコピー）と、写真・絵などと関連させて「書く」学習活動として広告のポスターを読み解かせることができます。

総合的な学習の時間でやる場合は、ポスターを読み解くことで、作り手の意図を立ち止まって考えることの必要性に気付かせ、情報が与える影響について考えさせることができます。

準備物

【この冊子と同様】

ワークシート、ポスター

【教材ダウンロードサイトで入手】

<http://mktk.mk5.net/pack/>

ワークシート（PDF）、ポスター（PDF）、授業用スライド

【その他あった方がよいもの】

プロジェクト、スクリーン、他の広告のポスター

*付属の広告のポスター以外でも、インターネットでポスター広告を検索し、プロジェクトで拡大投影することもできます。

授業の展開例

	学習活動	指導上の留意点
8分	<p>1. ポスターに興味をもつ。</p> <p>■ 発問 (ポスターを見せる前に) 今からポスターを見ます。最初にどこを見ましたか。 <予想される反応> ・かがやく白というところ ・青空 ・白いシャツ ・あふしきうなど</p> <p>■ 発問 どうしてそこに目がいくのでしょうか。 <予想される反応> ・大きく書いてあるから ・面白いから ・鮮やかだから</p>	<p>・今からポスターを見せることを伝え、最初に目をいくところを指導してからポスターを見せる。</p> <p>・ここでは、目立つように表現してあるという反応があればよい。中心発問につながるための発問なので、ここでは深く追究しない。</p>
27分	<p>■ 学習課題 ポスターを調べ、その工夫について考えよう</p> <p>2. ポスターの工夫を調べる。</p> <p>■ 提示 このポスターの工夫を探し、ワークシートに書きましょう。 <キャッチコピー> ・かがやく白・青空やゆいゆい大きく写っているもの・洗濯物・かがやくの白等 <伝えたいこと> ・青と白 <伝えたいこと> ・この洗剤である、かがやくよう白になる、きれいがよく落ちる洗剤である。</p> <p>3. 作り手の意図について考える。</p> <p>■ 発問 自分の家の洗濯物の様子と比べましょう。違いは何ですか。 ■ 発問 ポスターを作る人は、なぜ、工夫したポスターを作ったのでしょうか。 <予想される反応> ・この洗剤のいいところを知ってほしいから。・多くの人にほめてほしいから。・たくさんの人に買ってほしいから。</p>	<p>・去たたく洗剤のポスターであることを確認してから工夫について調べさせる。 ・ワークシートの視覚に沿って、じっくり分析させる。 ・キャッチコピーの意味を知らない児童が多いと予想されるので、キャッチコピーの意味を教える。 ・児童の意見を視覚に沿って整理しながら、板書する。</p> <p>・作り手の工夫について深く追究するために、自分たちの家の洗濯物の様子と比べさせることで、作り手の意図について考えさせる。</p>
10分	<p>4. 受け手として、本時を振り返りながら、これからポスターをどんなふうに見たらいいのかが考えよう。</p> <p>■ 発問 ポスターを見るとき、どんなことに気をつけますか。学習したことをもとに考えましょう。 <予想される反応> ・同じ伝えたいポスターなのに書きかきかきと読み取りたい。</p> <p>■ まとめ ポスターには、人を引きつける工夫がたくさんある。何を伝えたいポスターなのかをしっかりと読み、ポスターにまよわれないようにしたい。</p>	<p>・ワークシートに本時を振り返りながら自分の考えを書かせる。</p> <p>・ポスターの伝えたいことを立ち止まって考える姿や、ポスターに書かれていることを読みかきかきしないなどの反応が書かれていればよい。</p>

授業資料

授業資料は、次の教材ダウンロードサイトで入手することができます。
<http://msik.mik8.net/pack/>



広告のポスターを調べよう

年 組 番 名前

1. ポスターを見て、次の工夫を調べましょう。

調べること	わかったこと・調べたこと
キャッチコピー	
大きく写っているもの	
使っている色	
伝えたいこと	
そのほか気がついたこと きもん	

2. どうしてポスターを作った人は、工夫をしているのでしょうか

.....

.....

.....

3. ポスターを見るとき、どんなことに気をつけますか。
今日の学習をふり振り返りながら書きましょう。

.....

.....

.....

広告のポスターを調べよう

年 組 番 名前

1. ポスターを見て、次の工夫を調べましょう。

調べること	わかったこと・調べたこと
キャッチコピー	かがやく白
大きく写っているもの	白い洗濯物
使っている色	白、青
伝えたいこと	青空の中に、白い洗濯物が気持ちよく輝いている。 真っ白になるくらいに、きれいに落ちる洗剤だということ。
そのほか気がついたこと きもん	洗濯物ばかりが大きくて、汗の洗濯洗剤は、小さい。 普通洗濯物にはいるんな色があるのに、どうして白いシャツばかり干してあるのだろう。

2. どうしてポスターを作った人は、工夫をしているのでしょうか

.....
 一帯伝えたいことを大きくすることで、たくさんの人に知ってほしいと書いている。
 白い洗剤でも、その洗剤のいいところがわかるようにしている。
 たくさん売りたいから、.....等のことが書かれていればよい。

3. ポスターを見るとき、どんなことに気をつけますか。
今日の学習をふり振り返りながら書きましょう。

.....
 広告のポスターは、ちょっと見ただけでその製品のいいところが分かるから便利である。
 でも、いいところばかり書いたり、よく見せるために見せ方を工夫しているの、
 ポスターに行動が影響されないように教えるときはしっかり見たい。

授業時の教師用トーク

スライド 1



今日は広告のポスターを調べます。

スライド 2

ポスターを見ましょう。

どの部分に
目がいけますか。

今からポスターを見ます。
どの部分に目がいけますか。
(ポスターを見せる前に伝える)

スライド 3



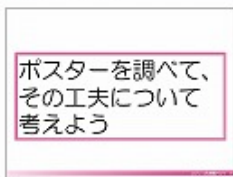
(しばらく時間をかけてから)
どの部分に目がいきましたか。
(3人程度指名する)

スライド 4



どうしてそこに目がいけるのでしょうか。
(子どもを指名する)

スライド 5



今日は、ポスターを調べて、その工夫について考えます。
(可能なら、A4サイズにカラー印刷したポスターを子どもに配布するとよい)

スライド 6



このポスター、何を宣伝するポスターですか。
(子どもを指名する)
そうですね。洗たく洗剤のポスターです。
どうしてそう思いましたか。(洗たく洗剤と
思っただけを言わせれば)
広告ポスターには、工夫がたくさんあります。

スライド 7

ポスターの工夫をさがしましょう

【調べること】

- キャッチコピー
- 大きく写っているもの
- 使っている色
- 伝えたいこと
- その他

今から、ポスターの工夫を探しましょう。
(ワークシートを配布する)
ワークシートに名前を書きます。
調べることは、キャッチコピー、大きく写っているもの、使っている色、ポスターが伝えたいことです。
キャッチコピーとは、人の注意をひくための短い言葉です。
それ以外の欄には、今説明した以外に気付いたことや思っただけを書きましょう。

スライド 8

ポスターの工夫を発表しましょう

【発表すること】

- キャッチコピー
- 大きく写っているもの
- 使っている色
- 伝えたいこと
- その他

それでは、みんなが見つけたポスターの工夫を発表しましょう。
(※順番に関心、子どもから出された意見は黒板に整理する。)

スライド 9



もう一度、ポスターをよく見ます。
皆さんの家の洗濯物と比べましょう。
何か違うところはありますか？
(指名する。)
(洗濯物の色、まがしり印の形の輪、青空などの意見がでるようになりたいが、出ない場合は、「洗濯物は、白いシャツだけですか」等を尋ねるとよい)

スライド 10



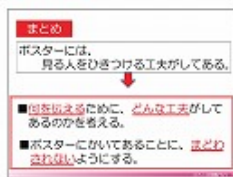
そうですね。洗たく物は、白い輪ばかりではありません。
模様様だったり、マークが付いていたり、ピンクや青など色もあります。
それに、このポスターのように、光の輪は、見えるものなんでしょうか。
空も、いつも青空ではありません。
それなのに、どうして汚れの白い青空なのでしょうか。(指名する)

スライド 11

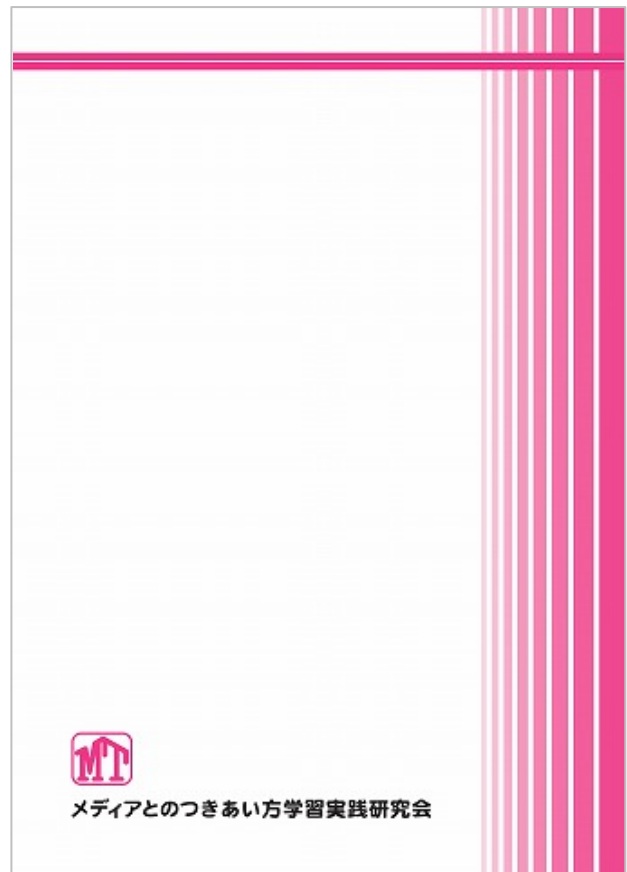
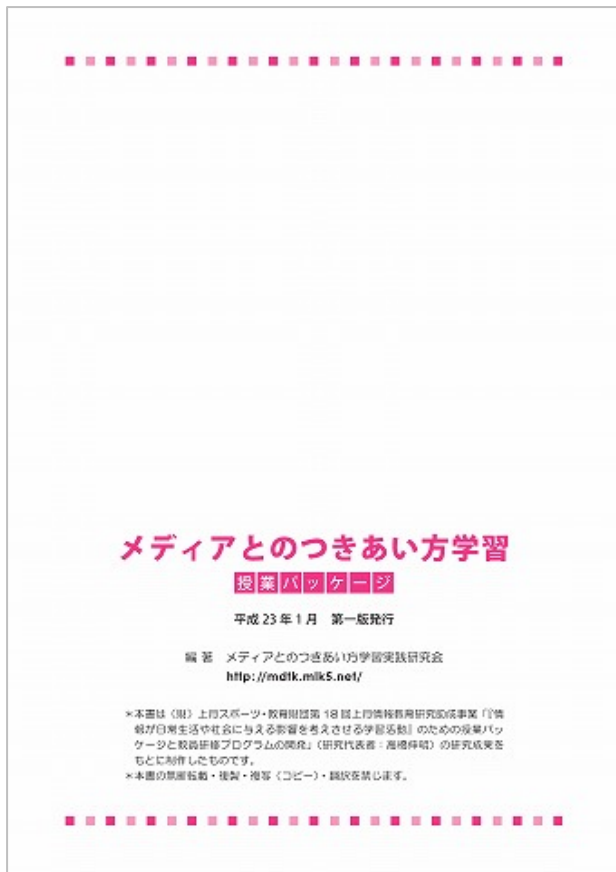


ポスターを作った人は、なぜ、こんなにくさんの工夫をしたのでしょうか。
ワークシートの 2 番に、自分が考えたことを書きましょう。(しばらく時間をおく)
発表しましょう。
ポスターには、工夫がたくさんあることが分かりました。最後の質問です。ポスターを見ると、どんなことに気をつけましたか。今日勉強したことを思い出しながら、ワークシートの 3 をやりましょう。(記入後発表させる)

スライド 12



今日の勉強をまとめます。
ポスターには、見る人を惹きつけるためのさまざまな工夫がしてあることが分かりました。だから、ポスターを見るときは、何を伝えるために、どんな工夫がしてあるのかを考えるようにしましょう。そして、ポスターにかいてあることに感づかれないようにしましょう。



<参考文献>

- ・堀田龍也(2004)メディアとのつきあい方学習 -「情報」と共に生きる子どもたちのために、ジャストシステム
- ・文部科学省(2008)小学校学習指導要領
- ・文部科学省(2008)小学校学習指導要領解説総合的な学習の時間編
- ・影山知美、高橋伸明、吉野和美、松橋尚子、倉知恵理、堀田龍也(2005)メディアとのつきあい方学習のための学習パッケージ、全日本教育工学研究協議会長野大会論文集
- ・渡辺純恵、堀田龍也(2002)情報教育用学習パッケージの開発上の留意点、全日本教育工学研究協議会栃木大会論文集、pp.187-190
- ・クラスルームソリューションプロジェクト(2010)ニコニコ ICT 実物投影機活用授業研修パッケージ、(株)エルモ社
- ・フラッシュ型教材活用実践プロジェクト(2010)フラッシュ型教材研修パック、チエル(株)
- ・高橋伸明、堀田龍也(2005)「メディアとのつきあい方学習」の教員研修デザイン、全日本教育工学研究協議会第31回年会論文集 CD-ROM
- ・高橋伸明、吉野和美、影山知美、松橋尚子、堀田龍也(2006)メディアとのつきあい方学習教員向けワークショップモデルの開発、全日本教育工学研究協議会第32回年会論文集 CD-ROM
- ・高橋伸明、堀田龍也(2007)模擬授業を取り入れたメディアとのつきあい方学習ワークショップモデルの開発、日本教育情報学会第23回年会論文集、pp.140-141
- ・高橋伸明、吉野和美、影山知美、笠原晶子、松橋尚子、宮脇康一、渡辺純恵、此川美奈代、天野三鶴、堀田龍也(2011)「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」のための

授業パッケージの開発、全日本教育工学研究協議会第37回大会論文集 CD-ROM

- ・高橋伸明、吉野和美、影山知美、笠原晶子、松橋尚子、宮脇康一、渡辺純恵、此川美奈代、天野三鶴、堀田龍也 (2011) 「情報が日常生活や社会に与える影響を考えさせる学習活動」のための授業パッケージを活用した教員研修プログラムの評価、日本教育工学会研究報告集、pp.29-34

<研究組織>

※平成24年3月31日現在

グループ名	メディアとのつきあい方学習実践研究会		グループメンバー合計	9名
代表者氏名	高橋 伸明			
共同研究者	氏名	所属・職名	役割分担	
	高橋 伸明	笠岡市教育委員会学校教育課・統括	研究総括, 研修プログラム実践	
	松橋 尚子	大田区立洗足池小学校・副校長	研修プログラム作成・評価	
	吉野 和美	富士市立田子浦小学校・主幹教諭	授業パッケージ・評価	
	天野 三鶴	松戸市立中部小学校・教諭	授業パッケージ作成・授業実践(中学年)	
	笠原 晶子	前橋市立荒牧小学校・教諭	授業パッケージ作成・授業実践(中学年)	
	此川美奈代	滑川市立西部小学校・教諭	授業パッケージ作成・授業実践(中学年)	
	影山 知美	津山市立弥生小学校・教諭	授業パッケージ作成・授業実践(高学年)	
	宮脇 康一	荒川区立大門小学校・主任教諭	授業パッケージ作成・授業実践(高学年)	
	渡辺 純恵	富山市立東部小学校・教諭	授業パッケージ作成・授業実践(高学年)	
助言者	堀田 龍也	玉川大学教職大学院・教授	指導助言	

<教員研修プログラムによる研修実施>

日時:2011年7月9日(土) 13:30~16:30

会場:東京大学 福武ラーニングスタジオ(福武ホール内)

「第4回 メディアとのつきあい方学習実践研究会学習会」として実施